

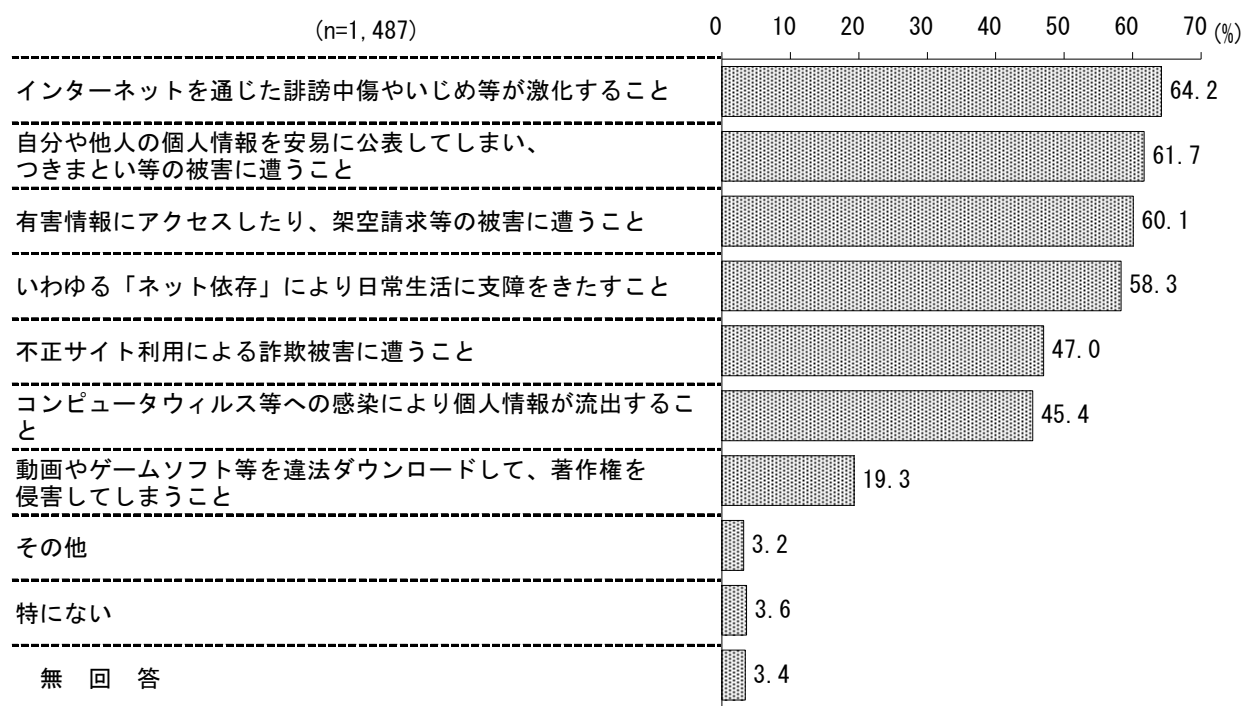
8. 青少年の健全育成について

(1) 青少年のインターネット利用に関して、危険性を感じること

◇「インターネットを通じた誹謗中傷やいじめ等が激化すること」が6割台半ば

問27 青少年のインターネット利用に関して、あなたが危険性を感じるのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

<図表8-1>青少年のインターネット利用に関して、危険性を感じること



青少年のインターネット利用に関して、危険性を感じるのはどのようなことかを聞いたところ、「インターネットを通じた誹謗中傷やいじめ等が激化すること」(64.2%)が6割台半ばで最も高く、以下「自分や他人の個人情報を安易に公表してしまい、つきまとい等の被害に遭うこと」(61.7%)、「有害情報にアクセスしたり、架空請求等の被害に遭うこと」(60.1%)、「いわゆる『ネット依存』により日常生活に支障をきたすこと」(58.3%)と続いている。(図表8-1)

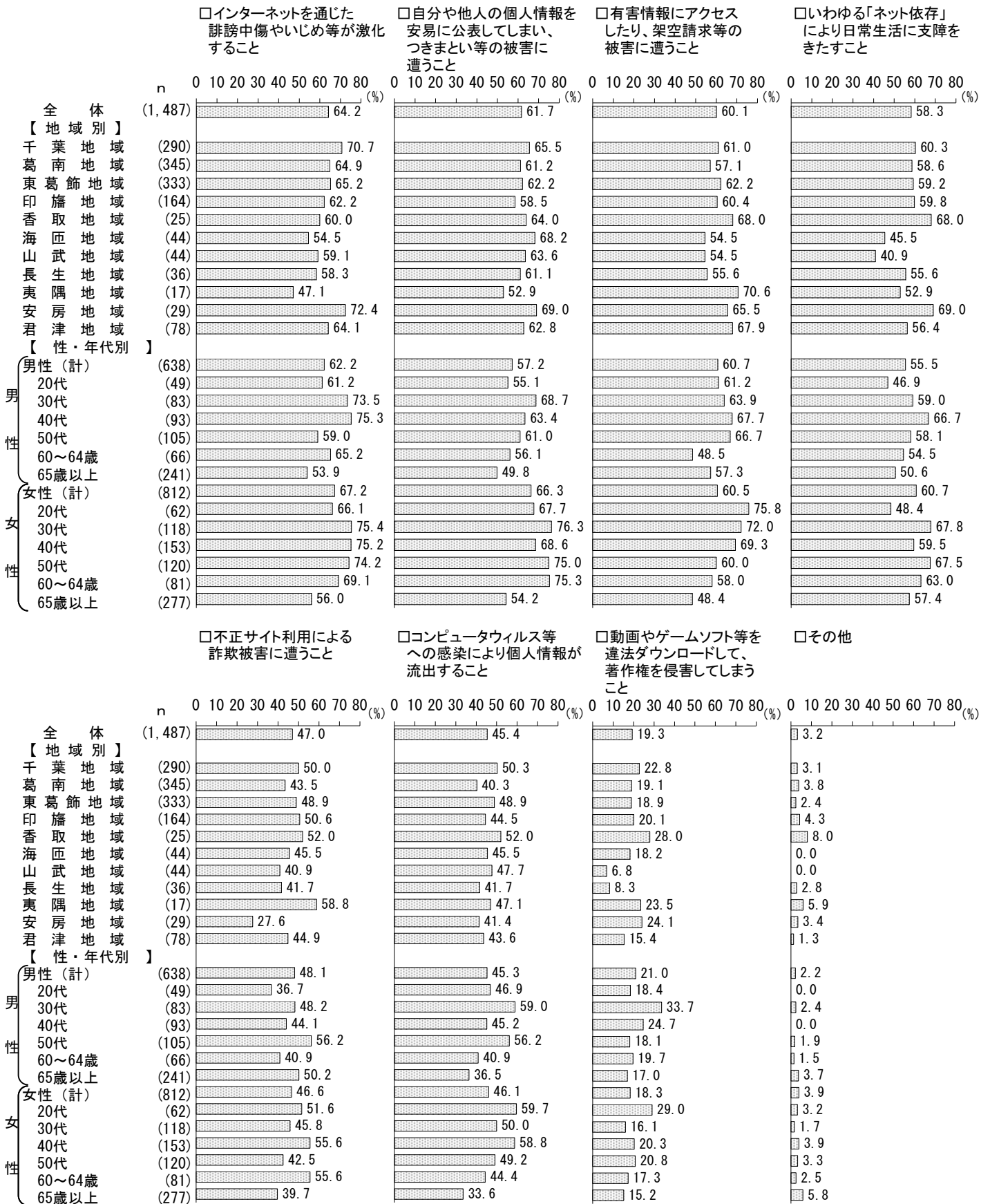
【地域別】

地域別にみても、「インターネットを通じた誹謗中傷やいじめ等が激化すること」では“安房地域”(72.4%)、“千葉地域”(70.7%)が7割以上で他の地域に比べ高くなっている。「自分や他人の個人情報を安易に公表してしまい、つきまとい等の被害に遭うこと」は、“安房地域”(69.0%)、“海匝地域”(68.2%)が約7割で、「有害情報にアクセスしたり、架空請求等の被害に遭うこと」では“夷隅地域”(70.6%)が7割で他の地域に比べて高くなっている。「いわゆる『ネット依存』により日常生活に支障をきたすこと」は“安房地域”(69.0%)、“香取地域”(68.0%)が約7割で他の地域に比べ高くなっている。(図表8-2)

【性・年代別】

性・年代別にみても、「インターネットを通じた誹謗中傷やいじめ等が激化すること」は女性の30代(75.4%)、40代(75.2%)、50代(74.2%)、男性の30代(73.5%)、40代(75.3%)が7割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。「自分や他人の個人情報や安易に公表してしまい、つきまとい等の被害に遭うこと」では、女性の30代(76.3%)、50代(75.0%)、60～64歳(75.3%)が7割台半ば、「有害情報にアクセスしたり、架空請求等の被害に遭うこと」では女性の20代(75.8%)、30代(72.0%)が7割以上で他の年代に比べ高くなっている。「いわゆる『ネット依存』により日常生活に支障をきたすこと」は、女性の30代(67.8%)、50代(67.5%)、男性の40代(66.7%)が6割台半ば以上で他の年代に比べ高くなっている。(図表8-2)

＜図表 8-2＞青少年のインターネット利用に関する危険性／地域別、性・年代別

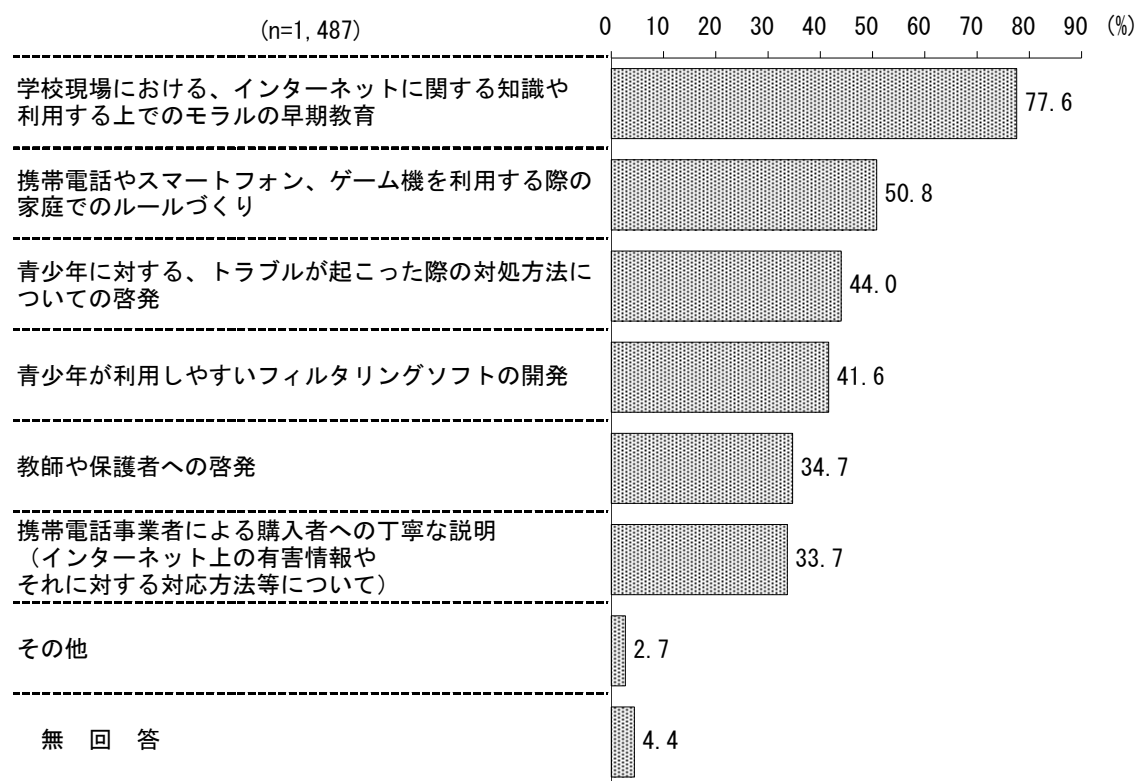


(2) インターネット利用の危険性から青少年を守るために必要なこと

◇「学校現場でのインターネットに関する知識や利用する上でのモラルの早期教育」が約8割

問 28 インターネット利用の危険性から青少年を守るためにどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

<図表 8-3> インターネット利用の危険性から青少年を守るために必要なこと



インターネット利用の危険性から青少年を守るために必要なことを聞いたところ、「学校現場における、インターネットに関する知識や利用する上でのモラルの早期教育」(77.6%)が約8割で最も高く、以下「携帯電話やスマートフォン、ゲーム機を利用する際の家庭でのルールづくり」(50.8%)、「青少年に対する、トラブルが起こった際の対処方法についての啓発」(44.0%)、「青少年が利用しやすいフィルタリングソフトの開発」(41.6%)となっている。(図表8-3)

【地域別】

地域別にみても、「学校現場における、インターネットに関する知識や利用する上でのモラルの早期教育」は「千葉地域」・「夷隅地域」(ともに82.4%)、「海匠地域」(81.8%)、「東葛飾地域」(81.1%)が8割を超えて他の地域に比べ高くなっている。「携帯電話やスマートフォン、ゲーム機を利用する際の家庭でのルールづくり」は「安房地域」(62.1%)、「香取地域」(60.0%)が6割以上、「青少年に対する、トラブルが起こった際の対処方法についての啓発」では「夷隅地域」(52.9%)、「印旛地域」(50.6%)が5割以上で他の地域に比べ高くなっている。「青少年が利用しやすいフィルタリングソフトの開発」は「君津地域」(48.7%)、「山武地域」(47.7%)が約5割で他の地域に比べ高くなっている。

(図表8-4)

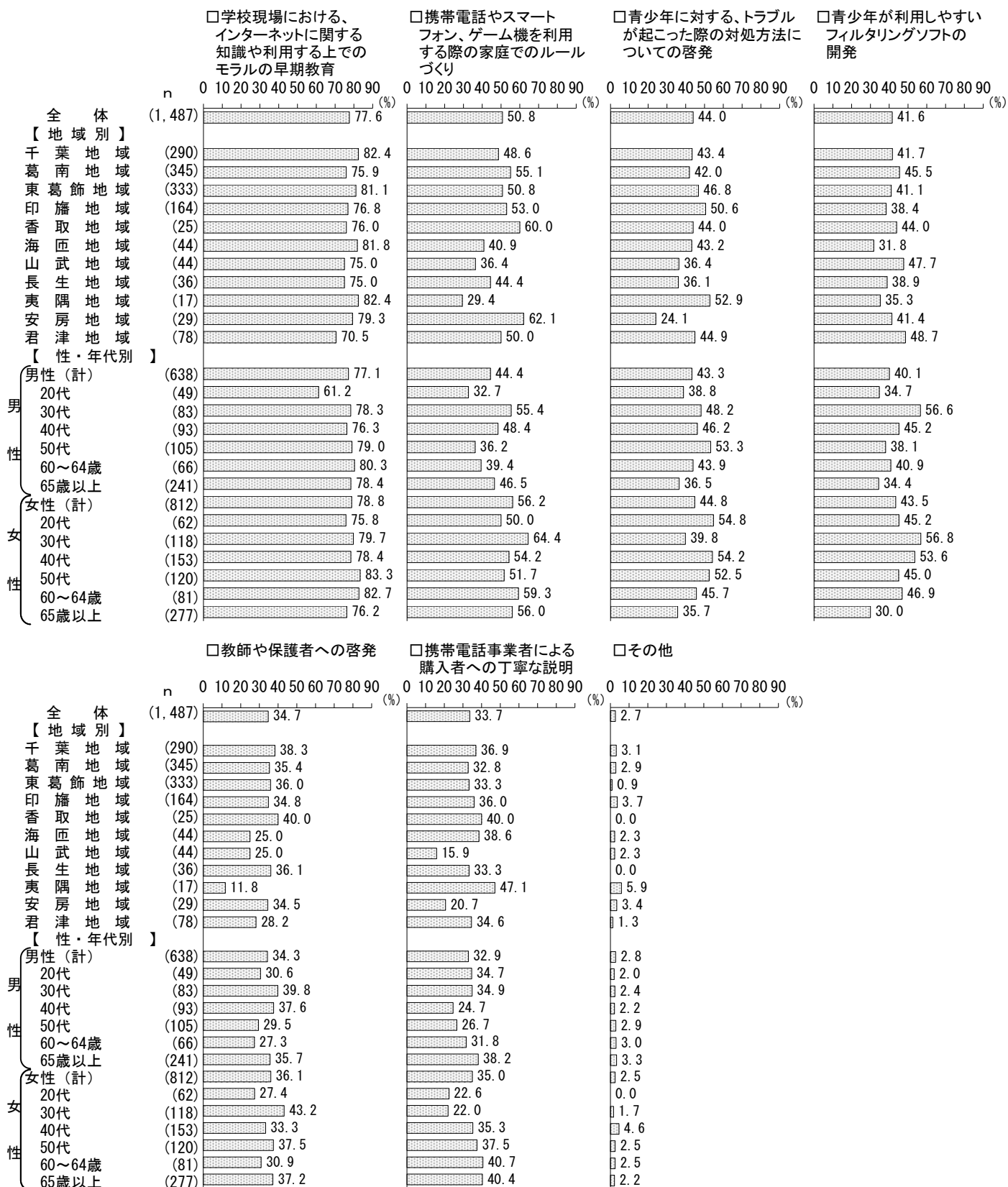
【性・年代別】

性・年代別にみると、「学校現場における、インターネットに関する知識や利用する上でのモラルの早期教育」は女性の50代（83.3%）、男女の60～64歳（男性80.3%、女性82.7%）が8割以上で他の年代に比べ高くなっている。「携帯電話やスマートフォン、ゲーム機を利用する際の家庭でのルールづくり」は女性の30代（64.4%）が6割台半ば、「青少年に対する、トラブルが起こった際の対処方法についての啓発」では女性の20代（54.8%）、40代（54.2%）、男性の50代（53.3%）が5割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。「青少年が利用しやすいフィルタリングソフトの開発」は男女の30代（男性56.6%、女性56.8%）、女性の40代（53.6%）が5割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。

（図表8—4）

<図表8-4>インターネット利用の危険性から青少年を守るために必要なこと

／地域別、性・年代別

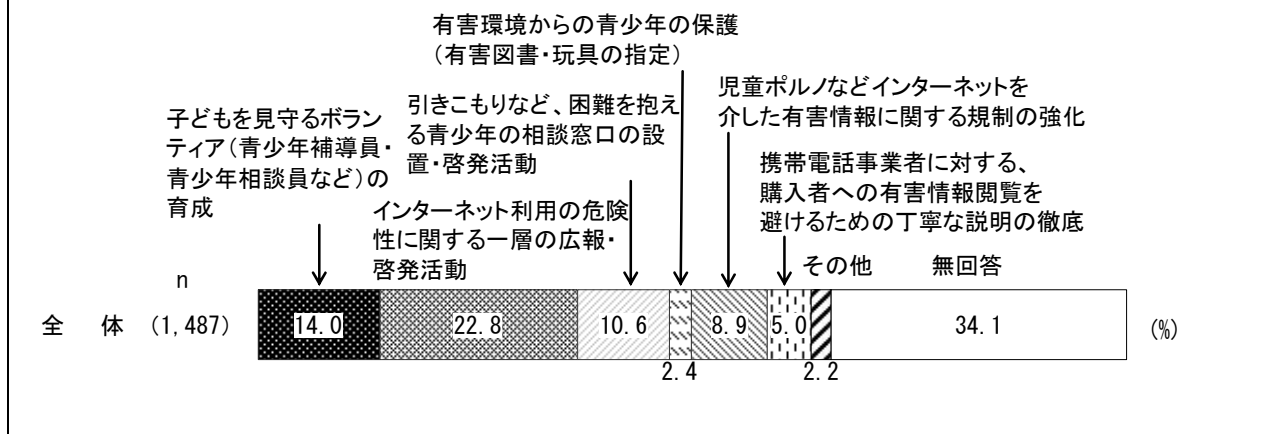


(3) 青少年の健全育成のために、行政が取り組むべきこと

◇「インターネット利用の危険性に関する一層の広報・啓発活動」が2割を超える

問 29 青少年の健全育成のために、行政が取り組むべきことは何だと思えますか。(○は1つ)

<図表 8-5> 青少年の健全育成のために、行政が取り組むべきこと



青少年の健全育成のために、行政が取り組むべきことを聞いたところ、「インターネット利用の危険性に関する一層の広報・啓発活動」(22.8%)が2割を超えて最も高く、以下「子供を見守るボランティア(青少年補導員・青少年相談員など)の育成」(14.0%)、「引きこもりなど、困難を抱える青少年の相談窓口の設置・啓発活動」(10.6%)と続いている。(図表8-5)

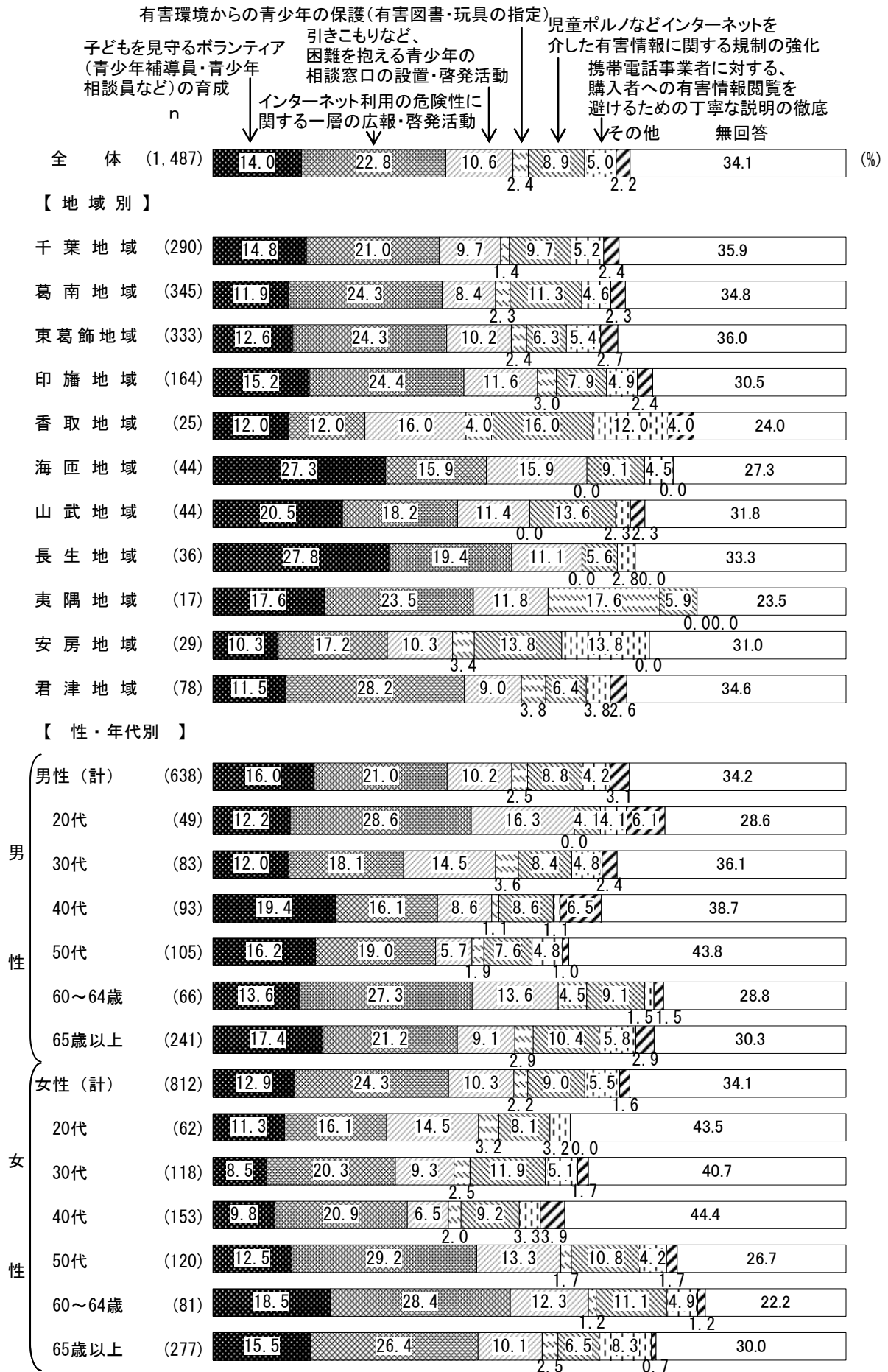
【地域別】

地域別にみても、「インターネット利用の危険性に関する一層の広報・啓発活動」は“君津地域”(28.2%)が約3割で他の地域に比べ高くなっている。「子供を見守るボランティア(青少年補導員・青少年相談員など)の育成」は“長生地域”(27.8%)、“海匠地域”(27.3%)が約3割で、「引きこもりなど、困難を抱える青少年の相談窓口の設置・啓発活動」では“香取地域”(16.0%)、“海匠地域”(15.9%)が1割台半ばで他の地域に比べ高くなっている。(図表8-6)

【性・年代別】

性・年代別にみても、「インターネット利用の危険性に関する一層の広報・啓発活動」は女性の50代(29.2%)、男女の60~64歳(男性27.3%、女性28.4%)、男性の20代(28.6%)が約3割で他の年代に比べ高くなっている。「子供を見守るボランティア(青少年補導員・青少年相談員など)の育成」は男性の40代(19.4%)、65歳以上(17.4%)、女性の60~64歳(18.5%)が約2割、「引きこもりなど、困難を抱える青少年の相談窓口の設置・啓発活動」では男性の20代(16.3%)、30代(14.5%)、60~64歳(13.6%)、女性の20代(14.5%)、50代(13.3%)が1割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。(図表8-6)

<図表8-6> 青少年の健全育成のために、行政が取り組むべきこと／地域別、性・年代別



このほかに、「青少年の健全育成について」やここまでの質問（問27～問29）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、151人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「青少年の健全育成について」の自由回答（抜粋）

- 漠然とした注意喚起では、今の青少年には通用しないと思うので、どのようなことが法に触れ、どのような処罰の対象となるのかなど、当事者性を持たせた具体的な説明が必要だと思います。
(女性・20代・千葉地域)
- 例えばSNSにおいて、既読の表示機能があるが為に、「読んだのに返信がない」とか、子供達の間でいじめにつながる現象が多くなっています。家庭での教育も重要ですが、学校や社会からのバックアップも必要だと思います。(男性・40代・葛南地域)
- 学校でインターネットに関する知識、危険性を包み隠さず教えてほしい。
(女性・40代・東葛飾地域)
- 有害なものから遠ざけるだけでなく、そういったものを「選択しない」力を子供に身につけさせるべきと考える。(男性・40代・千葉地域)
- インターネットなどにアクセス、利用が低年齢化している。フィルタリングの強化（子供用に）。
(女性・65歳以上・東葛飾地域)
- 早いうちから「自分の身は自分で守る」ということを意識させ、しかしながら危険に遭遇してしまった時にはどうすればよいか、大人が対処法を伝え、対処法やリスクを自ら学習させ、感じさせ、大人は守るだけでなく、伝えていく、学習させる、感じさせるといことをさせるとよいと思う。(女性・30代・東葛飾地域)
- 人間は多少のトラブルを乗り越えて育つと思います。トラブルにあわない対策よりも、トラブル時の対処法を教える方が大事だと思います。(女性・65歳以上・葛南地域)
- 我が家にも中学生と大学生がいます。共にスマートフォンを使用しています。使用時間も1日通算すれば2時間程度利用しています。それぞれの友人達も似たり寄ったりのような気がします。それに気をとられ、食事時や勉強にも集中出来ない事もあり、大きな問題な気がします。社会として何かできることはないのでしょうか？ もちろん家庭でも考えていきます。
(女性・40代・千葉地域)
- 家庭内での十分な話し合いが重要。トラブルの危険性を理解していない親が多いように感じます。
(女性・30代・葛南地域)
- 青少年だけでなく大人に対するインターネット利用のマナー、注意点の啓発が必要。
(男性・50代・印旛地域)